

HPV

現在20代～30代の女性に急増しているのが子宮頸がんです。毎年約10,000人が発症し、約3,000人が亡くなっているといわれています。原因はヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染です。子宮頸がんは発症しても症状はすぐには出ませんので毎年検診を受けて早期発見するしかありません。命はもちろんのこと、妊娠や出産の可能性まで奪ってしまい、生活や人生に大きな影響を及ぼす病気なので2年に一度は必ず検査を受けましょう。婦人科で検査するのが嫌な人は、HPV郵送検査という方法もあるので、自分がHPVに感染しているかいないかを一度自己検診してみるのもよい方法と思います。詳しくは当財団にお問い合わせください。

子宮頸がん



まずは

早期検査

HPV郵送検査
という方法も
あります。



公益財団法人 性の健康医学財団は
2021年に創立100周年を迎えます

性の健康週間

11月25日～12月1日

性感染症に関する情報は
<http://www.jfshm.org>

性の健康 検索

主催：公益財団法人 性の健康医学財団

後援：厚生労働省、文部科学省、日本医師会、エイズ予防財団、日本性感染症学会